



【文 芸】 今月の新しい図書です。貸出中の場合は予約をおすすめします。 2026年7月号

<p>神さまは雲のなか 宇野千代著 角川春樹事務所 その生涯における文化人たちとの出会いと別れを綴ったエッセイ集</p>	<p>盗む男 ミステリ短篇選 井上ひさし著 中央公論新社 短篇と関連エッセイで味わう井上ミステリ</p>	<p>トーマス・マンはなぜ日本で愛されるのか 平野啓一郎・鈴木結生・小黒康正著 白水社</p>
<p>豆は煮えたか 朝井まかて著 文藝春秋 古い×時代小説</p>	<p>キャント・バイ・ミー・ラブ 小路幸也著 集英社 下町大家族物語第19弾</p> 	<p>私的応答 井戸川射子著 講談社 時間と震災の記憶の物語</p>
<p>1+1 井上荒野著 潮出版社 ペアリングをモチーフにした掌編小説集</p>	<p>人間らしく生きるということ 曾野綾子著 河出書房新社 逝去後に書齋で発見された原稿を書籍化</p>	<p>天領の鷹 上・下 村木嵐著 講談社 実在の材木商「飛驒屋」四代、百年の物語</p>
<p>すべてが円くなるように 原田マハ著 幻冬舎</p>	<p>ゲノム・トーカー 林譲治著 東京創元社</p>	<p>星月夜 藩邸差配役日日控 砂原浩太郎著 文藝春秋</p>
<p>福島県南相馬市小高区東町 1-10 柳美里著 福島民報社 福島民報に連載されていた「南相馬にて」を書籍化</p>	<p>背表紙の学校 奈倉有里 講談社 学校には存在しない教科を町の本屋さんが教えてくれた</p>	<p>露の宿り 高瀬乃一著 PHP 研究所 温かい人情と料理が心に沁みる連作短編集</p>
<p>見えるか保己一 蟬谷めぐ実著 KADOKAWA 全盲の天才学者・埴保己一。その胸中にあったのは絶望か希望か</p>	<p>ぬすびと 寺地はるな著 双葉社 傷も時間も刻んだ体でどこまでも自由に踊り出すための物語</p>	<p>君の不在の夜を歩く 窪美澄著 新潮社 高校の同級生5人、40歳目前になった彼らが直面したものは・・・</p>
<p>鶴 赤神諒著 PHP 研究所 光と闇の陰陽師が交錯する平安ファンタジー</p>	<p>六月の満月 一栗ライオン著 流星舎</p> 	<p>遅咲きというしあわせ 焦らず、騒がず、静かに「時」を待つ 下重暁子著 徳間書店</p>

【趣味・実用書】

<p>はじめての地経学 経済が武器化した時代の見方 朝日新聞出版</p>	<p>日本社会と外国人入管政策が照らす 80年 朴沙羅著 中央公論新社</p>	<p>拉致 上・下 封印された真実 高世仁・NK917 著 旬報社</p>
<p>ハプスブルク家「美の遺産」 世界文化社</p>	<p>飼い鳥困りごと解決事典 細川博昭著 誠文堂新光社</p>	<p>恐竜折り紙図鑑 切らずに1枚で折る フチモトムネジ著 MdN</p>
<p>現代戦争論 ロシア・ウクライナから考える世界の行方 小泉悠著 筑摩書房</p>	<p>Z世代は戦後初めて銃をとる世代になるかもしれない 丹羽宇一郎著 東洋経済新報社</p>	<p>看護師を長く続けてわかったこと 宮子あずさ著 デコ 大事なものは、できることよりわかること</p>
<p>おどろきの刑事司法 “犯罪者”の作り方 村木厚子著 講談社</p>	<p>2030 来たるべき世界 エマニエル・トット/オートリー・タン他著 朝日新聞出版</p>	<p>イラン現代史 イスラーム革命から核問題、対イスラエル戦争まで 黒田賢治著 中央公論新社</p>
<p>わたしの日々が、言葉になるまで 小説家に学ぶ言語化のコツ 町田そのこ著 祥伝社</p>	<p>人新世の「黙示録」 斎藤幸平著 集英社</p>	<p>いちばん使える筋肉と関節しくみが見える図鑑 末吉勝則・中田康夫監修 永岡書店</p>
<p>体育会系 日本のスポーツ教育が創った特異な世界 大野雄大著 中央公論新社</p>	<p>くらべてわかる動物の痕跡 識別ポイントで見分ける 安田守/阿部浩志写真・文 山と溪谷社</p>	<p>強権国家アメリカ「トランプ革命」の衝撃 読売新聞アメリカ総局著 中央公論新社</p>

【児童書】

<p>背中合わせの恐怖 室井滋著 金の星社 著者本人が体験した怖い出来事や不思議な現象など日常の中の非日常を描く</p>	<p>バベルの教室 乾ルカ著 PHP 研究所 乾ルカが描く初の児童向け小説</p> 	<p>ハヤ号セイ川をいく フィリパ・ピアス著 岩波書店 ピアスのデビュー作を新訳で!</p> 
--	--	--